

令和7年 6月 6日 (金)

あさひの日だまり

NO.8

辰野町立辰野東小学校 文責 片桐

～運動会。楽しい思い出ができたかな～

ご来校ありがとうございました

先週の土曜日運動会が行われました。早一週間が経過してしまいました。あっという間でした。まだ子供たちの活躍が目の前に浮かんできます。それを取り囲んで声援を送って下さっていたご家族や地域の皆様の優しい表情が思いだされます。子どもたちは本当にすごいです。感動を与えてくれました。改めて子どもたちの持っているすばらしさを再確認しました。そして、保護者の皆様地域の皆様ご来校いただき子どもたちに声援を送って下さり本当にありがとうございました。皆様の声援があったからこそ子どもたちは励まされて頑張れました。そして「頑張った自分」を見返して自信を深めたに違いありません。子どもたちが一回り成長する貴重な機会を得ることができたことを心より感謝申し上げます。

運動会が終わった翌週の朝「どうだった運動会楽しかった？」と一人の子に聞きました。「組体操を早くやりたいな～」という返事が返ってきました。「そうか、かっこよかったもんね」「来年が楽しみだね」と声をかけました。後輩にとっては5・6年生のあの組体操とフラッグが「かっこいい～」っていう憧れになっているんだなと思いました。

6年生にも聞いてみました。「運動会楽しかった?」「うん」「そうか何が一番心に残ってる?」「組体操!」と即座にそして自信をもって答えてくれました。5・6年生にとって組体操の持っている意味の大きさをそのときも感じました。決して最初から素晴らしい演技が予想されるような練習ができていたわけではありません。演技に関する話し合い。思いを実現しようとする何度も何度も続く練習。そういう道筋の後にあの演技があるのです。目の前の児童が自信をもって「組体操!」と答えられるにはそれなりの理由があるのだなと感じました。

5・6年生は確かに素晴らしかったですが、そのほかの学年の皆さんの演技や競技も素晴らしかったです。よくあそこまで仕上げたなと感心するばかりでした。

私は赤も白も同じように応援していたのですが、大玉送りで赤の先導をしたので、少しばかり赤に気持ちが行っていました。大玉送りは赤の連勝、綱引きも赤優勢と聞いていたので白のみんなが落ち込んでしまわないか実はとても心配していました。ところがです。綱引きでは練習で連勝していた赤が連敗、かけっこも白優勢となっていきました。途中経過では同点。「これはどうしたことか」と思っているうちに白に小差で逆転を許しました。立場的に「接戦になってよかった」と胸をなでおろしました。そしてこの接戦は子どもたちにとって勝っても負けても「よく頑張った」という気持ちを残してくれるに違いないと思いそういう意味でも安心する気持ちになりました。子どもたちは点数はともかく自分の精いっぱいをして本当によく頑張りました。「みんなすごかったね!」と心から褒めてあげたい気持ちです。運動会の写真を掲載します。

どうぞ子どもたちの頑張りを見てあげて下さい。

1・2年生



3・4年



5・6年



～クラブ発足～

子どもたちの「挑戦」の機会に

指導者の先生の紹介



5日（木）の6時間目に第1回のクラブが行われました。当日は体育館で今年度のクラブ指導者の皆さんとクラブ員の子どもたちとの顔見せと発足会から始まりました。

今年開設するクラブは以下の通りです。卓球クラブ・バドミントンクラブ・バスケットボールクラブ・マラソンクラブ・茶道クラブ・手作り工作クラブ・イラストクラブ調理クラブ・

指導者の先生との出会い

木工細工クラブ・折り紙クラブ・切り絵クラブ・理科クラブ・初めてのプログラミングクラブ・手芸（編み物縫い物等）・工芸アクセサリークラブ 以上15のクラブです。今年も子どもたちの希望を取り入れていくつか新しいクラブを発足させました。多くの指導者の皆様は当然お仕事を持っておられます。お休みを取ってご来校いただいています。本当に感謝の気持ちです。指導者の皆様の専門的な知識と技能に触れて子どもたちが自分の知らない自分と出会えることを願っています。

指導者の皆様どうぞよろしくお願いいたします。そして児童の皆さんにはクラブ活動を思いっきり楽しんで欲しいと思います。

